

**令和元年度 久留米広域連携中枢都市圏
ビジョン懇談会 小分科会（広域観光・MICE ワーキング）
議事録**

(1) 日 時： 令和元年 8 月 22 日（木） 13：30～15：00

(2) 場 所： えーるピア久留米 210 、211 学習室

(3) 出席者： <ビジョン懇談会委員>4 名

古賀亮史委員、小田好一委員、緒方伸州委員、神代眞澄委員（代理：城野和幸委員）

<各ワーキンググループ職員>6 名

<事務局> 3 名

(4) 次第及び内容： 〔○…委員発言 ●…ワーキンググループ、事務局発言〕

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 説明事項
<p>テーマ「広域でのアフターコンベンションプログラムの造成とそのプロモーションのあり方について」</p> <p>配布資料をもとに説明</p>
4. 意見交換
<p>○スポーツで宿泊客を増やせないかということですが、前日受付にすれば必ず宿泊は増えます。おそらく筑後川マラソンは当日朝の受付だと思います。北九州からでも車を走らせれば宿泊しなくてよい。前日受付であれば、泊まろうかなという人が増えるはずです。</p>
<p>○今、西鉄の方では、福岡でトヨタ自動車と連携して MaaS(マース)の実証実験をやっています。マイルートというアプリですが、様々な移動手段を検索できるもので、そこに予約・決済の機能が付いています。タクシー、福岡市一日乗車券等アプリで決済できます。一番大きなテーマが「移動したくなる世界をつくる」ということで、イベント・店舗情報をアプリの中に入れてあります。今、交通業界ではどこも MaaS に力を入れており、自社だけでなく様々な交通、観光事業者が連携して、事前に観光コースが見られたり、決済できたりなど、皆さんやり始めています。ダウンロード数も 26,000 件を超えています。例えば、観光コース等をマイルートアプリに入れて活用していけないか。移動手段、イベント・店舗情報も分かるし、さらに決済もできれば、広がっていく可能性はあります。ひとつの PR になる、手段になるのではないかと思います。</p>
<p>○久留米まち旅博覧会ですが、一度うきは市から参加させていただきました。今は期間が秋に限定されているものが多く、「いつでもまち旅」などいろいろあるのですが、こういうアフターコンベンションを考えると、大会やコンベンションの日程にあわせて作ってもらうことも考えられるのではないかと思います。また、「くるめりラックス」というパンフレット、欲を言えば久留米だけでなく周辺市町村にも広げていただいて、うきは市からも参加できるようになれば、周辺に広がるのかなと思います。</p>
<p>○アフターコンベンションについて、まず大会などの何か目的があって来られる方が、その前後で楽しめるところを搜すというのであれば、パンフレットなど近隣に何があるか分かるものが必要だと思います。前泊して一日、一晚時間が空くというのであれば、例えば、この前八女市での塾に参加しましたが、そこで夜の街を楽しんでいただくコースを作ろうという話がありました。</p>

<p>非常に面白いと思ったのは、土橋市場という世間にもあまり知られていない市場を楽しんでいただくコースを作ろうと、ガイドをつけて、なかなかひとりでは行けないようなところを案内し、雰囲気を楽しんでもらおうという試みでした。前泊する人などに楽しんでいただくには、良い企画ではないかと思いました。</p>
<p>●実は私どもがコンベンションなど企業の会議を誘致するときに、研修が受けられるような、見学ができるような施設はないか。その周辺で楽しめるところはないかなどとよく言われます。それが学会に繋がっていればベストだと。そういったものを今日は知りたいと思っています。本市にはこんなものがあるよなど、あれば教えてほしいと思います。</p>
<p>●MICE は、臨時の総会ぐらいで本格的なものは施設がないので対応できません。アフターコンベンションとして何かできるかという、企業見学については、企業も公開したがる、受け入れていないのが現状です。フルーツが特産なので、レセプションに持ち込むというのはどうでしょうか。会場での物産展はPRとして必要と思います。</p>
<p>●アフターコンベンションだと日程は決まっているし、随分前から分かっているので、しつらえで良いのであれば用意はできると思います。たとえば「食」など。私も音楽をやっているし、全国大会等に参りますが、アフターだとちょっと遠くても、楽器屋とか古いレコード店とか何か縁のある所だけは行きます。関連したところの方が、人は動くのではと思います。</p>
<p>●高木病院という大きな病院があるのですが、ここは独自にやられています。美に関することと言うと、大川市では、「お酢」や「快眠ベッド」等は繋がるのかなと思います。大川市は東京の八芳園と包括連携協定を結んでいます。ここがMICEの誘致を積極的にやられています。また、ユニークベニューとして全国の伝統工芸の産地を集めて、九州からは大川市と有田市が参加していますが、職人さんが伝統工芸を作っているところや家具・陶器の展示を行っています。パーティには大川市の食材等を提供しています。大川市としては家具のPRやビジネス展開に繋がっていると思っています。ただ、大川市でアフターコンベンションを受け入れるとなると難しいと感じています。</p>
<p>●ダイハツさんは事前予約制であれば受け入れ可能ですが、時間的に学会と合わない場合も多いです。ブリヂストンさんもありますが、見学制限があり、全員がというのはハードルが高い状況です。常時受け入れが可能な企業があれば、学会側も実施を検討できるのですが、現状であればアフターコンベンションとしては調整が難しい場合が多い。例えば、福岡で学会があつて、アフターコンベンションで久留米周辺に来たら、ここは見たいなという所はあると思われませんか。</p>
<p>○なぜ久留米市かという、県内でも病院が多いし学会も医療系が多いと思います。すべての学会を受け入れてアフターコンベンションというのは、関係がないとできないと思います。</p>
<p>●医療系の学会が多いことは事実です。医療系の組織が、例えば福岡で学会を行って、当方のエリアに視察に来てもらい、フリー解散してもらえれば、当方のエリアで一泊してもらって、周遊の可能性があるということですね。</p>
<p>●その他、営業を行っている方々の褒賞旅行は200人規模でもあるそうなので、周遊の際に何かできないでしょうか。大刀洗町での食の提供は、地元の方にそこまで負担をかけていいものでしょうか。やる方も赤字でないかだめだと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>●安くしないと駄目でしょうか。うちでは3,000円いただいています。</p>
<p>●それが可能であれば、提案できると思います。うきは市であれば、フルーツ狩りの会場を雨が降ってもいいようにして懇親会の会場にするなどできますか。</p>
<p>●おそらく100人規模となればできないと思います。ただし、工場見学としては、JAにじが</p>

<p>西日本最大級の選果場を持っており、見ていると結構面白いし体験するのも面白い。そういった見学であれば、かなりの人数を受け入れることができていると感じています。</p>
<p>○工場見学を企画したことが2件ありました。ひとつは、寝具メーカーで見学をしましたが、同業者は困るということで先方に見学者リストを出しました。また工場内の写真撮影は禁止でした。もうひとつは堤木材というところで、うきは市ならではの木材加工のいろんな工程を見学することができます。ただ、規模はマイクロバス1台ほどで大人数では厳しいと思います。</p>
<p>○今は、見学よりも体験ということで、たとえば大川家具の家具作り体験、久留米餅、フルーツのジュース作りなど、体験型のメニューを企画して提案することはされていますか。</p>
<p>●MICE に関してはありませんが、「まち旅博覧会」という事業がありまして、年に一回 80 プログラムの体験メニューを集めて、プログラムあたり 10 人～15 人の参加者がいます。体験事業についてはある程度ノウハウは持っていますが、ただ大会にあわせて事業者がやっていただけるか、受け入れのキャパも課題ですね。いくつか準備して選んでもらうなどは考えられます。メニュー化して PCO（学会を仲介する業者）に売り込むことができるのであれば、ひとつの誘客に繋がるとは思います。それだけでは選んでもらえないので、メインの企画がしっかりしてプラスαとして提案すれば可能になるかと思っています。</p>
<p>○例えば医療など、分野別にすると見る方もすごく分かりやすいと思うので、視点を変えることも良いのではないのでしょうか。実際、医療系の体験や病院見学などがあります。</p>
<p>●そういった意味では、「まち旅」は連携中枢都市圏事業として皆さんにプログラムを出していただいてメニュー化しています。</p>
<p>●大川市も木工の体験や椅子づくり、スプーン、組子の体験などを持っています。先ほどの港区の八芳園は結婚式場で 2,000 人規模のパーティが催されますが、その時全国の伝統工芸について体験イベントをします。東京の人には珍しがられ、喜ばれます。そういった意味では、それぞれの市町の特徴がある体験ものを集めるというのは効果があると思います。</p>
<p>●大川市は MICE の参加者が来てほしいという気持ちはありますか。アフターコンベンションを広域でやりたいという考えはありますか。</p>
<p>●シティプラザで組子体験をしてもらうだけでも良いと思います。大川市としては家具が売れば良いわけです。八芳園の関係で何度も紹介していますが、東京から大川というのはハードルが高いようで、やれるところからが良いと思います。</p>
<p>●うきは市ではどうですか。</p>
<p>●ぜひお願いしたいと思います。</p>
<p>●大刀洗町では食事などが積極的ですかね。</p>
<p>●特にコンテンツがないので、食事を持たせていただくようお願いしています。食事は大刀洗でというツアーにしてもらっています。場所は、人数に応じて古民家だったり公民館であったりいろいろです。たまに来るぐらいなら自分たちの楽しみの一つとして、そしてお小遣いが入るといった感覚ぐらいなら対応できます。農家さんが多くゼロからの取組です。</p>
<p>○久留米市は美術館でユニークベニューを行われたことがなかったですか。</p>
<p>●過去に、美術館と同じ敷地内にある楽水亭で実施しました。ただ、過去の分は施設としては儲からない方法で受託してしまったので、今度実施する時は儲かる方法で提案できればと思います。</p>
<p>○「おもてなし」でも、ある程度利益が出ないと事業者もついてきません。体験プログラムでもよくありますが、安ければ良いというわけでもなく、ある程度お金を取らないと、県内どこでも体験プログラムは安すぎるといわれています。</p>

<p>●石橋文化センターでの内容はすごく良かったので、また実施したいとの声もあります。さらに、美術館の中でやりたいという意見もあります。ただ、これはさすがに厳しいものがあります。また、商店街で行ったことが1回あります。商店街の皆さんにご理解、ご協力いただくわけですが、これもなかなか大変です。</p>
<p>●福岡で行われるMICEのアフターコンベンションを誘致に行く方法が分からず、どうしたらこちらに目を向けていただけるのか、わかる方がおられますか。</p>
<p>○学会の事務局が旅行業者に委託しているわけで、新たな魅力的なものを創っていかないと、今のままでは厳しいと言っています。</p>
<p>○要は団体ではハードルが高ければ、学会等にきた個人にいかアプローチしていくかも考えられた方が良いでしょう。</p>
<p>○せっかく久留米で会議があっても大半が福岡市へ行ってしまうのは、福岡市に比べ久留米市の情報をよく知らないことも、一つの理由ではないかと思えます。ホテルや学会の会議室などに何らか情報が置いてあれば、ちょっと行ってみようかと思わせることになるのではないのでしょうか。</p>
<p>●現在、県の広域地域振興課と連携して広域マップを作ろうとしています。これは福岡市等からの誘客を狙ったものですが、こういうものをMICEの会議室などに置くということですね。</p>
<p>○紙媒体だけではなくて、アプリにつながるようなデータにしておく、位置情報やイベント情報等もより拡散できる可能性が出てくると思えます。</p>
<p>●既存の観光マップは久留米市内だけで遠方からのお客様には不十分です。</p>
<p>○多くの情報にリンクしていったら、アプリひとつで様々な情報が見られる環境が整備されようとしており、それをいかに活用するかだと思います。外部と連携するような形にどんどん広げていくことが重要だと思います。</p>
<p>●行政の平等性について、観光分野について、行政の方はどう考えられますか。</p>
<p>●昔の行政では載せないでしようが、今回は個店の名称を載せようとしています。</p>
<p>○ラブFMの天神サイトの情報もマイルートの中に入れて目的地を設定し、イベントも店舗も誘導できるようにしています。</p>
<p>○私も今、サイクルツーリズムを行っていてホームページを立ち上げましたが、手を挙げていただいている個店は、個店情報もしっかり載せています。そうしなければ来た方が困ることになります。</p>
<p>●今年度中にマップは完成します。県南全域が対象です。</p>
<p>●広域で何か出してくれと言われても、コンテンツがないところは困ります。健康やファッションなど、何かテーマ、キーワードをいただくと、ないながらも何か考えてお出しすることができます。それをきっかけに観光のコンテンツになるのかなと思えます。</p>
<p>●久留米市は病院が多いので、MICEの実績を上げていこうとするならやはり医療に絞り込むなど、少し尖ったものの方が良いと思えます。それぞれ町ごとの持ち味を出していけば良いと思えます。</p>
<p>●そろそろ時間が無くなってきております。最後に委員の皆様で何かあればお願いします。</p>
<p>○万人受けするアフターコンベンションは多分ないのではと思います。医療、食、フルーツなど地域の持ち味を生かしたアフターコンベンションに特化していくことが、相手の満足度もあがるので良いと思えます。どれでも誘致することはなかなか難しいと思えます。</p>
<p>○小郡市、大刀洗町は観光名所が少ないとのことでしたが、私は例えば、美味しいものの方が興味がそそられる感じがします。挙げれば出てくると思えます。</p>
<p>○MICE情報として、年間でいつ、どこで、何があると分かれば、各市町も余裕をもって情報提供</p>

<p>等できると思うので、一覧のようなものがあつたら良いと思います。</p>
<p>●MICE についてはテーマを絞っていただくと、こちらも返答しやすいと思います。広域観光的な部分では、100 人以上の団体のお客様はなかなか対応できないと思います。少人数の体験ものを100~300 プログラム作るイメージを私は持っています、それをポータルサイトに立ち上げて、予約・決済までできる仕組みを作る、そうすると広域的にも参加しやすくなるし、10 年後はそういった流れになると思いますので、そういった視点を持って全般的に取り組んでいきたいと思っています。</p>
<p>●どちらにしても情報をどうやって相手方に伝えていくか、どう地域が賑わいを創っていくかが重要だと思います。大川市では古民家を利用した宿泊施設に取り組んでいますので、久留米市での会議の後に、古民家に泊まってみたいという人がおられたら斡旋できるようにしたいと思っています。今あるものと今後創るものを合わせていけたらと考えています。</p>
<p>●今日の会議で見えてきたことは、毎年同じことをするのではなくて、新たな発見をしていくことだと思いました。博多はおいしいものがあるといいますが、何でも美味しいというわけではありません。ご当地に行った方が良いという文化に変えていくべきかなと思いつつ、皆さんの意見をお聞きしていました。</p>
<p>●筑後地区は美味しいものがたくさんありますし、筑後川があります。上流から下流まで何かしら広域で取り組むことができると思います。知恵を出し合えればと思います。</p>
<p>●いろんなご意見をいただいて方向性が見えてきたような感じがします。あまり総花的な取組は、観光も MICE も今からの時代は難しいということが確認できたと思います。</p>
<p>●このような意見交換、率直に話ができただことは良かったと思いますし、今後も普段から連携を密にして、それぞれが良いものを創っていただいて、広域的にも良いものを出していく。広域連携というのは観光分野では必要不可欠だと思いますので、今後もよろしくお願いします。本日はありがとうございました。</p>
<p>5. その他</p>
<p>●ビジョン懇談会全体会は秋ごろ開催予定です。</p>
<p>6. 閉会</p>